

国労東北自動車支部

責 任 者 北山修司
編 者 教 宣 部
NO,64
2015.5.6

国労加入
で職場を
変えよう

賃金改善交渉開催

会社＝出来ないと言った方が良く

組合＝労働力不足こそ会社の損失

4月30日(木)バス東北本社において「2015年度賃金改善」の申し入れ
仙地申第17号の団体交渉が行われました。

会社は「競争相手が厳しくなってきた。ベースアップは厳しい。」の
一点張りで誠意ある回答が示されませんでした。(以下、交渉内容要旨)

組合・昨年、バス東北として6年ぶりにベースアップが行われた。しかし、この間、消費税が8%になり社会保障費も値上げしている。夏季手当において加算額が減額になり、バス東北に働く人の生活実態がなかなか改善されていない。

組合の賃金アンケートでも赤字を抱えながら生活しているのが実情である。夏季ダイヤがスタートし収支が出たと思うので説明を受けながら議論を進めたい。

会社・営業収益、所謂、売り上げは昨年度より2200万円落ちている。営業費用は3000万円増えている。合わせて5200万円悪化している。後は東電からの補償などもあって辛うじてプラスになっている。よそからの応援がなければ赤字に転落だという状況。競争相手も厳しくなってきた。

ない。青森とか岩手から通勤にきた場合、乗務員の負担は大きい。会社は、人材の育成というが食い止めることも大切ではないか。時間と金をかけても辞めれば無駄な投資になってしまう。

会社・全くその通りだ。

組合・会社の経営が苦しいからで本

当に良いのか。

会社・だから、他のところでパート負担なり、単身赴任扱いなどやっている。

組合・他社の話を聞いてみると労働力の落ち込みが会社の損失になる。労働力を落ち込ませないための一つの考え方として、我々は賃金改善を求めている。昨日、事故を起こして3年目(関越道事故)というところでテレビ放映されていたが、事故根絶に向けた体制というのは社員の努力もある。そこに報いるべきではないか。

会社・可能な範囲でやることになる。今やるというのではなく・・・。

組合・現在、内部留保は6億円を超えている。出せない金ではない。

会社・そういう問題ではない。

組合・そういった金を人材育成に使うべきではないか。ため込むことばかり考えないで。

以上

以上

以上

以上

以上

以上